

◇生理機能検査◇

直接患者さんと接して得られる検査情報をもとに、解析や診断の補助を行っています。検査結果を迅速にかつ正確に報告できるよう努めていますが、検査の混み具合や検査内容によってはお待ちいただく時間が長くなる場合があります。患者さんに優しい検査室、信頼される検査室を目指して日々検査業務に臨んでいます。

主な検査内容

【心電図検査】

安静時心電図

動悸やめまい、胸痛などの自覚症状がある場合や、術前検査などに行います。不整脈や、心筋梗塞、狭心症などの虚血性心疾患の診断に有用です。

負荷心電図（マスター心電図）

胸痛や不整脈など症状がない時の心電図検査では正常と区別がつかないことがあります。これらの症状は軽い運動で誘発されることがあり、運動負荷後に心電図を記録して負荷前後の心電図の変化を判定する検査です。狭心症の診断に有用です。

ホルター心電図

心電図を24時間継続して記録し、動悸、失神、めまい、息切れ、胸痛等の原因検索や不整脈の頻度、治療効果の判定のために行われる検査です。装着中は、入浴ができません。

【超音波検査】

人の耳には聞こえないような高い周波数の音を使い、体の状態を調べます。

検査部位		検査内容
腹部 (肝臓・膵臓・腎臓・胆嚢・脾臓・消化管)		お腹が痛い場合や、血液検査で異常が見つかった時などに行います。 炎症の有無、腫瘍の有無、形態的異常や結石などがわかります。
心臓		心臓の動きや大きさ、弁の状態などを観察します。
体表臓器 (乳腺・甲状腺・頸部)		腫瘍の有無、機能障害など評価します。
血管	頰動脈	動脈硬化の程度など評価します。
	下肢動脈・下肢静脈 他	血液の流れや血栓の有無を評価します。

【脈波検査】

両腕と両足首の血圧を同時に測り、動脈硬化（動脈の硬さや血管に狭窄がないかなど）の総合的評価を行います。

【呼吸機能検査】

肺疾患が疑われる場合や、術前の肺機能評価を目的として検査を行います。肺の大きさ（肺活量）や、胸いっぱい空気を吸い込んだあと、勢いよく最後まで吐き出した空気の量（呼出の勢い）を調べます。喘息や、タバコなどが原因でおこる COPD（慢性閉塞性肺疾患）などが診断可能です。

【聴力検査】

標準純音検査・簡易聴力検査

音として聞き取れる最小の音を測定します。

ティンパノメトリー

音が鼓膜や耳小骨を介して伝わっていくときの伝わりやすさ、伝わりにくさを調べます。

重心動揺検査

めまい、平衡障害の診断を目的としています。開眼時 1 分間、閉眼時 1 分間直立姿勢を保ち、ふらつき具合を記録し分析を行います。

【脳波検査】

脳から出るとごく弱い電磁信号を波形にして、脳波計で記録します。てんかんの診断や治療効果、脳障害（脳血管障害、頭部外傷、意識障害、肝性脳症など）の評価などに行います。検査は予約制で、検査時間は 1 時間程度です。

乳幼児の場合は、寝かせてから検査を行いますので、睡眠剤を使用することがあります。

【神経伝道速度検査】

手や足などの神経を電気刺激して、神経の伝わり方に障害がないか、伝わる速さが遅くなっていないか等を調べる検査です。手足の痺れ、痛み、力が入らないといった場合に検査を行い、神経麻痺の診断や、糖尿病による末梢神経障害の有無など評価します。神経を刺激するため、痛みを伴うことがあります。

検査は予約制で、検査時間は 30 分から 1 時間程度です。

【睡眠時無呼吸検査】

いびき、日中の眠気等で睡眠時無呼吸症候群が疑われる時に行います。睡眠時無呼吸症候群の病態、重症度の評価を目的に行います。

簡易睡眠時検査 (SAS 検査)

呼吸の状態や酸素濃度を記録して睡眠時の呼吸の状態を調べます。機器を貸出し、自宅にて検査可能です (予約制)。

終夜睡眠ポリグラフィック検査 (PSG 検査)

睡眠時無呼吸の状態をより詳しく調べます。脳波も記録し、睡眠状態もみながら行いますので、一泊の入院が必要です (予約制)。

【その他】

眼底検査、尿素呼気試験、聴性脳幹反応検査 (ABR) なども行っています。